

スモールサンゼミ カンボジア最新動向視察ツアー レポート

日程：2013年4月21日（日）～25日（木）

ネットランド（株） 辻 修

◆4月21日

- ・成田、名古屋、大阪、広島、福岡、沖縄よりタイ航空、アジアナ航空にてプノンペンへ
タイ航空午後8時30分、アジアナ航空午後11時プノンペン到着。

到着ゲートにて、カンボジア上院議員のサント氏、現地コーディネーターの菅原様（Asian Business Partner Corporation Ltd. CEO）他の出迎えを受けVIP ルームへ。パスポートを渡して、VIP ルームにて休憩中に入国・通関手続き。

（通常は査証取得、入国手続きと長い列に並び手続きに時間がかかる）

専用車にてホテルへ、合計19名

宿泊は ホテル・カンボジアーナ・プノンペン Hotel Cambodiana Phnom Penh

シアヌーク元国王の政策により1989年創業、クメール様式外観の老舗ホテル。



プノンペン空港VIP ルーム

◆4月22日

- ・1階レストランにて各自朝食 06:30～ ビュッフェ形式
- ・08:00 銀行口座開設希望者 出発
- ・09:00 セミナー会場へ

◎午前中 インペリアル・ガーデン・ホテルにてカンボジアの現状に関するセミナー

Hotel Cambodiana Phnom Penh

講師は 高 虎男氏 (Ko Honam) JC Group CEO

カンボジア事業概況について分かりやすく説明いただきました。

カンボジア：人口約1500万人、面積18.1平方キロメートル（日本の約半分）

カンボジアの特徴

- ・雨が多く水が豊富、食料が豊かな国。トンレサップ湖はアジア最大の淡水湖、雨期には琵琶湖の15倍の面積
- ・なぜカンボジアか

現状コストが安い

アジアの生産物流の拠点になる。アジアハイウェイが整備されれば、プノンペンは交通の要所になる。

ほとんどUSドルで決済が出来る。タイ、ベトナムなどとは違いほとんど、外資規制、現地優先ルールが少ない。

税制優遇があるQIP（投資適格プロジェクト）を取得すれば、最大9年間法人税免除

東南アジアで最も親日的な国である。



- ・賃金 工場ワーカー：90ドル100ドル程度
英語、IT能力：200ドル～300ドル
日本語が可：350ドル～800ドル
(昨年のストの影響で最低賃金は本年5月から75ドルに上がる)

- ・オフィスビル 1平米あたり 10ドル～15ドル程度。
カナディアンタワー等の最新の事務所は1平米あたり28ドル程度+空調他諸料金
人件費、食費等は安い、全てが安いわけではない。特に電気代、ネット回線は日本より高い

◎昼食 タイタニックレストランにてカンボジア料理 高氏にも同席いただき引き続き話しを伺う。
(カンボジア料理は日本人の味覚に合い好評です)

◎午後 Grand Phnom Penh グランドプノンペン、CAMKO CITY、Kiriya Cafe、イオンモール（建設中）、
ダイヤモンドアイランド、ナーガ・ワールドホテルを見学

- ・グランドプノンペン ゴルフ場を中心に住宅、開発中の複合商業施設の高級エリア
- ・CAMKO CITY：韓国人によって開発されている地域
- ・Kiriya Café：日本人の経営するカフェにて外食産業について等の話しを伺う
- ・イオンプノンペンSM：敷地面積6800㎡、延べ床面積10500㎡ 駐車場1756台
- ・ダイヤモンドアイランド：コンドミニウム、複合商業施設等を建設中
- ・ナーガ・ワールドホテル：カジノのあるホテル

◎夕食はロータスにて中華料理



イオンモール建設中

◆4月23日

◎カンボジア議会表敬訪問 (09:50～11:00)

H. E OUR SARITH (オム・サリ) 氏 Secretary General of Senate (上院事務総長) と
Santo Voek 氏 (サント上院議員) より話しを伺い質疑応答



議会訪問



◎昼食 は 仁 (JIN Grilled Beef Restaurant) にて和食

- ・午後 製造業コースと金融・サービス業コースに分かれて視察
- ・製造業コース

◎プノンペン経済特区にて経済特区の概要について説明を聞いた後、住友電装を訪問 プノンペン経済特区オフィス
プノンペン経済特区概要 プノンペン空港近く。約375Ha (東京ドーム70個分)
日系企業ではミネベア、味の素、住友電装等が入っている。



- ・金融・サービス業コース

◎カンボジア証券取引所

カンボジア証券取引所(Cambodia Securities Exchange・CSX)は
2011年7月に正式に開設された。

株式取引は2012年4月18日に開始され、プノンペン水道公社(PPWSA)が
上場。現在上場は1社のみ。カナディア・タワーの25階にありオフィス
から市内を一望できる。



カンボジア証券取引所

◎プノンペン証券PLC (PPS)

台湾資本とカンボジア資本により2010年12月設立し、翌2011年2月より業務開始。

資本金は1,000万USドル(約10億円)。クメール語の他、中国語、英語、日本語などでサービスを提供。
従業員約40名。

お客様に市場分析等のレポートを毎日送付している。外国人も個人、法人の口座開設が可能。

希望者口座を開設の手続き。

◎BONNA PROPERTY

外国人は土地とコンドミニアム(マンション)の1階は買えないが、2012年から2階より上の階の住宅は購
入出来るようになった。今年前半でコンドミニアム等の150のプロジェクトを登録

プノンペンに建設中のコンドミニアムは1平米1,300ドル程度。

◎ZEN Massage Salon

八重樫院長よりカンボジア進出に際しての体験談等を伺う。

◎夕食：ロータスにて夕食会

今回の視察ツアーについて感想等のスピーチ。



BONNA PROPERTY

◎4月24日

- ・午前中は市内視察（王宮見学）、銀行口座開設の方は銀行へ、その後セントラルマーケットで合流。



王宮



セントラルマーケット

午後1時チェックアウト後、昼食

◎昼食後、ご希望により、ショッピング、マッサージ、クラタペッパー、クリニックの訪問



◎ケンクリニックでは、院長よりカンボジアの医療事情について話しを伺いました。

奥澤先生はカンボジアで唯一の日本人開業医。診療科は内科、外科、小児科。

夜、タイ航空、アジアナ航空で予定通り帰国

◎4月25日 成田、名古屋、関空、広島 予定通り到着

.....

カンボジアの実質 GDP 成長率は 6.5%程度で、政治的にも安定しています。平均年齢は20代前半と非常に若い国で、国家のピークは35年後に迎えると言われていています。日本は最大の援助供与国であることもあり、非常に親日的です。またベトナムやタイなどと異なり外国人に対する規制が少なく、外資 100%で法人の設立が可能であり、他のアジアの国々と比較し中小企業も進出しやすい国です。プノンペンにはアジアハイウェイ、東アジア産業大動脈（南部経済回廊、南部経済海岸回廊）の交通の要として今後の発展が期待されています。

人件費等が安い、手先が器用、英語が通じるなどのメリットがある一方で、電力は供給が不足していて高いなどの問題点も確認出来ました。

最後になりましたがご参加いただきました皆様、スモールサン事務局の方々、萩原プロデューサーそして現地でコーディネートいただきました菅原社長、加藤様他、プノンペンでご協力いただきました方々に御礼を申し上げます。